

令和6年度 通信教育実施計画 【公共】

公共	学年	2 学年	単位数	2 単位	課題	6 枚	面接	2 時間	使用教科書・副教材等	教育図書「高等学校 公共」教図 公共 702
----	----	------	-----	------	----	-----	----	------	------------	------------------------

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に向けて、下記の目標を目指していきます。

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・判断するための能力を育成することを目指す。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、書誌領から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けたか。</p>	<p>現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながらこうそうしたことを議論する力を養ったか。</p>	<p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めたか。</p>

(2) 評価の方法

ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。

イ 年2時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況を評価します。

ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	公共の扉	現代社会の諸問題				現代社会の諸問題
学習項目	○公共と人 ○公共と倫理 ○公共の基本原則	○法	○政治		前期単位認定試験	
学習内容	・日本の公共思想 ・功利主義と義務論 ・民主政治の歴史 など	・消費者の権利と責任 ・日本の司法制度 ・国民の司法参加	・選挙と政治参加 ・国会と内閣 ・地方自治	・国家主権と領土問題		・安全保障と防衛 ・国際社会と日本
添削課題	1枚（添削課題①）		1枚（添削課題②）	1枚（添削課題③）		
面接指導			面接指導 1時間			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	現代社会の諸問題			持続可能な社会へ		次年度学習への展望
学習項目	○経済			○社会研究の方法	後期単位認定試験	
学習内容	・職業選択 ・雇用と労働 ・財政の役割	・少子化と社会保障 ・市場経済の役割と限界 ・金融のはたらき	・グローバル化と経済統合 ・格差是正と多文化主義	・地域社会と共に学ぶ ・バリアフリー社会の実現 を目指して		
添削課題	1枚（添削課題④）	1枚（添削課題⑤）	1枚（添削課題⑥）			
面接指導		面接指導 1時間				

令和6年度 通信教育実施計画 【政治・経済】

政治・経済	学年	3 学年	単位数	2 単位	課題	6 枚	面接	2 時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「政治・経済」東書 政経 701
-------	----	------	-----	------	----	-----	----	------	------------	----------------------

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に直結する科目として、下記の目標を目指していきます。

- ①民主主義の本質について理論的・体系的に理解を深めます。
- ②現代の政治，経済，国際関係などについて客観的に理解するとともに，現実の情勢を主体的に探究する態度を身につけます。
- ③日本国憲法の基本原理，日本の政治機構などについて理解し，現代の政治の諸課題について考察を深めます。
- ④「法の支配」の意義について理解を深めるとともに，現実の社会における法の機能について学び，国民の司法参加の意義や課題について考察します。
- ⑤現代経済のしくみを基礎的な経済理論の観点から理解するとともに，国民経済の動向および，政府の役割と日本経済が抱える課題などについて考察します。
- ⑥国際社会の現状と諸課題について理解し，国際社会に生きる日本の役割について考察します。
- ⑦以上の理解や考察を踏まえて，現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに公正な判断力を養い，良識ある公民としての必要な能力と態度を身につけます。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
政治と法の意義と機能，基本的人権の保障と法の支配，権利と義務との関係，議会制民主主義，地方自治について，現実社会の諸事象を通して理解を深めている。諸資料から，課題の解決に向けて考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。考察，構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめている。	・日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し，表現している。近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し，現在の日本において多面的・多角的に考察し，表現している。	・現代の日本政治について，よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。

(2) 評価の方法

- ア 年6回の添削課題（レポート）で，観点別の力を測定する添削問題を作成し，それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。
- イ 年2時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して，習得の状況を評価します。
- ウ 年2回の定期考査で，観点別の力を測定するテストを作成し，それぞれの出題範囲における習得の状況を評価します。

(3) 評定について

評定は，上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	第1編 第1章 現代日本の政治		第2章 現代の経済			第2編 第1章 現代の国際政治
学習項目	1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則	3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	前期単位認定試験	1節 国際政治のしくみ 2節 複雑化する国際政治と日本
学習内容	①民主政治の成立 ②基本的人権の確立 ③現代の民主政治 ①日本国憲法の制定と基本原則 ②平和主義	①国会と立法 ②内閣と行政 ③裁判所と司法 ④地方自治 ①選挙と政治意識 ②世論と政治参加	①資本主義体制の成立 ②資本主義経済の発展と変容 ①経済主体と経済の循環 ①国民所得と経済成長 ②金融のしくみと機能 ③財政のしくみと機能	①経済再建から高度成長へ ②日本経済の現状 ①公害と環境保全 ②消費者問題 ③雇用と労働問題 ④社会保障と福祉		①国際政治の特質 ②国際連合の役割と課題 ①戦後国際関係の展開と日本 ②冷戦後の国際関係と日本 ③紛争・難民・テロリズム
添削課題		添削課題 回数①	添削課題 回数②	添削課題 回数③		
面接指導			面接指導 1時間			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	第2章 現代の国際政治		第3章 国際社会の諸課題	1年間の復習		今後の学習への展望
学習項目	1節 国民経済と国際経済	2節 世界経済の現状と課題		後期及び1年間の学習内容を振り返る。	後期単位認定試験	
学習内容	①貿易と国際収支 ②戦後国際経済体制の展開 ③発展途上国の経済	①グローバル化する世界経済 ②地球環境問題 ③資源・エネルギー問題 ④人口・貧困・感染症	①グローバル化にともなう社会変容 ②地球環境と資源・エネルギー問題 ③民族問題と紛争の解決 ④持続可能な社会の実現			
添削課題	添削課題 回数④	添削課題 回数⑤	添削課題 回数⑥			
面接指導		面接指導 1時間				

令和6年度 通信教育実施計画 【倫理】

倫理	学年	3 学年	単位数	2 単位	課題	6 枚	面接	2 時間	使用教科書・副教材等	東京書籍「倫理」東書 倫理 701
----	----	------	-----	------	----	-----	----	------	------------	-------------------

1 教科の目標

スクールミッション・スクールポリシーの達成に直結する科目として、下記の目標を目指していきます。

- ①青年期における自己形成の課題について、現代の倫理的課題とともに理解と思索を深め、他者とともに生きる自己の在り方生き方について考えます。
- ②先哲の基本的な考え方の理解を手掛かりとして、人間の存在や価値に関わる課題について思索し、人生観・世界観・価値観などを形成し、自己の人格形成に努める実践的態度を育成します。
- ③日本の伝統的な人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己との関わりの中で理解し、日本人としての在り方生き方について自覚を深めます。
- ④現代の倫理的課題や生徒の当面する課題について、先哲の考え方を学びつつ、倫理的な見方や考え方を身に付け、主体的に課題を解決していくための能力や態度を養います。
- ⑤人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を涵養し、現代の倫理的課題を自己の課題と関連づけて探求し、論理的思考力や表現力を身に付けて、平和で民主的な社会の実現に寄与する態度を養います。

2 評価の方法

(1) 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>事実的な知識のみならず、構造化された概念的な知識の獲得に向かうことや、一定の手順に沿った技能のみならず、変化する状況に応じて主体的に活用できる技能の習熟・熟達に向かうことが重要であることに留意すること。各教科等の特質や発達の段階に応じて、どのような知識・技能を獲得することが求められるのかを、目標や指導内容の構成の中で明確にできるよう工夫すること。</p>	<p>各教科等の特質に応じ育まれる見方や考え方をを用いた学習のプロセスを通じて評価すること。各教科等の特質や発達の段階に応じて、どのような思考・判断・表現が求められるのかを、目標や指導内容の構成の中で明確にできるよう工夫すること。その際、思考力・判断力・表現力の成長は一定の時間をかけて成長していくものであり、学年等を超えた整理が必要であることに留意すること。</p>	<p>資質・能力の柱である「学びに向かう力・人間性」には①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価（学習状況を分析的に捉える）を通じて見取ることができる部分と、②観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価（一人一人の良い点や可能性、進歩の状況について評価する）を通じて見取る部分があることに留意すること。</p>

(2) 評価の方法

- ア 年6回の添削課題（レポート）で、観点別の力を測定する添削問題を作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。
- イ 年2時間の面接指導での課題や参加の状況などを活用して、習得の状況进行评估します。
- ウ 年2回の定期考査で、観点別の力を測定するテストを作成し、それぞれの出題範囲における習得の状況进行评估します。

(3) 評定について

評定は、上記の方法で得られた評価ア～ウの情報を総合的に判断して行います。

3 年間指導計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
単元名	第1編 第1章 人間の心のあり方	第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ		第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ		
学習項目	1 人間とは何か 2 人間の心の働き	1 哲学すること 2 ギリシャの思想 3 宗教と社会 4 キリスト教 5 イスラーム	6 仏教 7 中国の思想 8 芸術	1 近代と人間尊重の精神 2 近代思想の展開 3 人格の尊厳と人倫の思想 4 社会変革の思想	前期単位認定試験	5 理性への疑念 6 人間観・言語観の問いなおし 7 他者・自然とのかかわり
学習内容	①人間の特質 ②青年期の課題 ①認知 ②感情と個性 ③発達	①人間と哲学 ①ソクラテスとソフィスト ②ヘレニズム・ローマ時代の思想 ①集団的な現象としての宗教 ①旧約聖書の倫理 ②キリスト教の展開 ①イスラームの展開	①古代インドの思想 ②仏教の展開 ①孔子と儒家の思想 ②儒教の展開 ③老荘思想 ①美の発見と芸術の創造・鑑賞 ②芸術と社会	①人間主体の時代 ①経験論と豪理論の対話 ②社会契約説 ①人格の尊厳 ②人倫の思想 ①功利主義と幸福 ②社会の進歩と実証的思想		①世界をとらえる知のあり方の変容 ①存在への問い ②現代思想の展開 ①他者と言語 ②自然と人間とのかかわり
添削課題		添削課題 回数①	添削課題 回数②	添削課題 回数③		
面接指導			面接指導 1時間			

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚		第2編	1年間の復習		今後の学習への展望
学習項目	1 日本人の精神風土 2 仏教と日本人の思想形成 3 儒教と日本人の思想形成 4 国学の思想	5 庶民の思想 6 西洋思想と日本人の近代化 7 国際社会に生きる日本人の自覚	生命、自然、科学技術 福祉、文化と宗教、戦争と平和	後期及び1年間の学習内容を振り返る。	後期単位認定試験	
学習内容	①日本人の宗教観 ②日本人の倫理観 ①仏教の日本的展開 ②仏教と日本文化 ①儒教の日本的展開 ①国学の形成と展開	①庶民の思想の広がり ②幕末の思想 ①近代化と啓蒙思想 ②近代的な自己の追求 ③近代日本の創造的な思想 ①戦後思想の動向 ②グローバル化と日本人	①生きることの意義 ②自然との共存とは ③情報技術は何をもたらすのか ④住みやすい社会とは ⑤異なる文化や宗教が共生するには ⑥平和な世界を実現できるか			
添削課題	添削課題 回数④	添削課題 回数⑤	添削課題 回数⑥			
面接指導		面接指導 1時間				